

工事現場等における新型コロナウイルス感染症への対応について ～ 建設現場において、現場作業に従事する者が感染する事態が発生 ～

連日、新型コロナウイルス感染症の発症報道がなされ、政府の新型コロナウイルス感染症対策本部より「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」が示されたところですが、**全国2か所の建設現場において、現場作業に従事する者が新型コロナウイルスに感染する事態が発生しました。**

政府の基本方針に則った対策を講じることに加え、工事現場等においては、下記を踏まえて適切な対応をお願いします。

また、状況は日々刻々と変化しています。**政府及び関係機関からの発表や通知等に応じ、迅速かつ適切な措置を講じていただくよう、お願いします。**

※「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/novel_coronavirus/th_siryu/kihonhousin.pdf

■感染予防の徹底

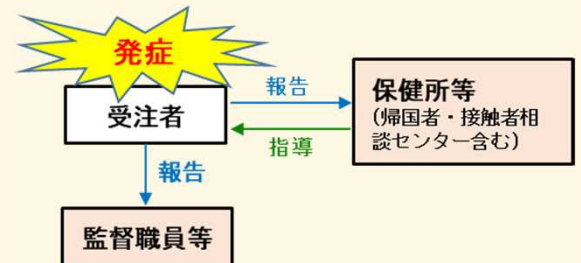
- 現場状況を勘案しつつ、**アルコール消毒液の設置や不特定の者が触れる箇所の定期的な消毒等、感染症予防を徹底**しましょう。
- すべての作業従事者等の健康管理に留意し、**発熱等の風邪の症状がみられるときは休暇を取得し、自宅待機**させるなど適切な対応をしましょう。

■報告体制の構築

- 作業従事者等の新型コロナウイルス感染が判明した場合の**連絡体制を構築**しておきましょう。

★作業従事者等の感染が判明した場合

- 作業従事者等の感染が判明した場合には、**発注者及び保健所に速やかに報告**してください。
- 保健所等の指導に基づき、**感染者本人や本人と濃厚接触した疑いのある者の自宅待機**をはじめ、適切な措置を講じましょう。



- 感染した作業従事者や濃厚接触者等が現場作業に従事できなくなることに伴い、受注者は必要に応じて、工事等の一時中止や工期の見直し等に係る協議を発注者に申し出ることが可能です。

■新型コロナウイルスに関する電話相談窓口

◇**新型コロナウイルス感染症にかかったかも？と思ったら、各都道府県が開設している「帰国者・接触者相談センター」へ電話で相談**しましょう。

- 同センターでは新型コロナウイルス感染症が疑われる方の相談を受け付けています。
- 相談内容から同感染症の疑いがあると判断した場合、その方への適切な診察を行う「帰国者・接触者外来」への受診調整を行っています。
- 新型コロナウイルス感染症に関する一般的な相談を行いたい場合は都道府県等が開設している「**新型コロナウイルス一般電話相談窓口**」へお問い合わせ下さい。
- 各都道府県が公表している、帰国者・接触者相談センター及び一般電話相談窓口のまとめページ①

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-kikokusyassessyokusya.html

◇厚生労働省が開設した電話相談窓口

電話番号 0120-565653 (フリーダイヤル)

受付時間 9:00から21:00 (土日・祝日も実施)

◇厚生労働省による新型コロナウイルス感染症情報のLINE公式アカウント

友達追加はこちらから②

<https://lin.ee/qZZIxWA>

①



②



新型コロナウイルス Q&A

令和2年2月22日時点版

心配な時には

Q1 風邪のような症状があり心配です。どうしたらいいですか？

A 発熱などの風邪の症状があるときは、学校や会社を休むなど、外出を控えてください。毎日体温を測定して記録しましょう。

Q3 最寄りの保健所等(帰国者・接触者相談センター)に相談するとどうなりますか？

A 電話での相談を踏まえて、感染の疑いがある場合には、必要に応じて、新型コロナウイルス感染症患者の診察ができる「帰国者・接触者外来」を確実に受診できるよう調整します。

予防について

Q4 新型コロナウイルスにはどうやって感染しますか？

A 現時点では、飛沫感染と接触感染の2つが考えられます。

- ① 感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫による「飛沫感染」
- ② ウイルスに触れた手で口や鼻を触ることによる「接触感染」

医療機関を受診するとき

Q6 医療機関を受診するときに気を付けることはありますか？

A 複数の医療機関を受診せず、「帰国者・接触者相談センター」等から紹介された医療機関(「帰国者・接触者外来」など)を受診してください。受診するときは、マスクを着用し、手洗いや咳エチケットを徹底してください。

Q2 感染したかも?と思ったらどうしたらいいですか？



A 以下の場合には、最寄りの保健所等にある「**帰国者・接触者相談センター**」に電話で相談しましょう。

- ① 風邪の症状や37.5度以上の熱が4日以上続く
- ② 強いだるさや息苦しさがある



・重症化しやすい高齢者や基礎疾患がある方に加えて、念のため**妊婦さん**は、こうした状態が2日程度続いたら相談しましょう。

・症状がこの基準に満たない場合には、かかりつけ医や近隣の医療機関にご相談ください。

Q5 感染予防のためにできることはありますか？

A 以下のことを心がけましょう。

- ① 石鹸やアルコール消毒液などによる手洗い
- ② 正しいマスクの着用を含む咳エチケット
- ③ 高齢者や持病のある方は公共交通機関や人込みを避ける

新型コロナウイルスについて

Q7 感染しても症状が出ない人がいますが、その人からも感染しますか？

A 現状では、はっきりしたことはわかっていません。通常、肺炎などを起こすウイルス感染症の場合、症状が最も強く現れる時期に、他者へウイルスをうつす可能性も最も高くなると言われています。





感染症対策 へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い

正しい手の洗い方

手洗いの前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう

1



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

2



手の甲をのぼすようにこすります。

3



指先・爪の間を念入りにこすります。

4



指の間を洗います。

5



親指と手のひらをねじり洗いします。

6



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



何もせずに咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを手でおさえる



マスクを着用する(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を確実に覆う



2 ゴムひもを耳にかける



3 隙間がないよう鼻まで覆う



厚労省

検索

